

## 新規事業のご紹介(2021年度～2022年度)

### 2021年7月 ● 風の村なりたリニューアルオープン



2021年7月1日、千葉県成田市で訪問介護や居宅介護、デイサービスセンターを運営してきた「生活クラブ風の村なりた」が、地域交流スペースとして活用できる「ザ・土間」や「ザ・納屋」を併設した福祉の複合施設としてリニューアルオープンしました。24時間・365日、ご本人の様子や希望に応じて「通い」「訪問」「泊まり」を組み合わせ、いつまでもお家で生活を続けていけるように支えていきます。  
【住所】成田市大竹370-5

### ● 訪問看護ステーションAricaオープン



2021年7月1日、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム推進基金(びあ基金)の後押しを受け、精神科に特化した「生活クラブ風の村訪問看護ステーションArica」が誕生しました。Aricaという名称は日本語の「在り処(ありか)」と同義で、人やモノの「存在」を指し示す言葉です。中核地域生活支援センターや相談支援事業所の協力を得ながら、訪問を通じて当事者の地域生活が充実したものになるように尽していきます。  
【住所】佐倉市王子台4-28-12 T・第一ビル201号

### 2021年8月 ● 看護多機能ハウスいなげオープン



2021年8月1日、千葉県千葉市稲毛区に「看護多機能ハウスいなげ」がオープンしました。この施設は、生活と福祉の複合施設「生活クラブいなげビレッジ虹と風」内にある建物に新規事業として開設され、利用者定員28名の看護小規模多機能型居宅介護施設です。介護が必要な利用者が自宅で自立した生活が送れるようにサポートし、自宅への「訪問」や短期間の「宿泊」といった介護の種類を利用者の状況に合わせて組み合わせ柔軟に提供します。  
【住所】千葉市稲毛区園生町1107-7 (いなげビレッジ虹と風)

### 2022年4月 ● 千葉あんしんケアセンター磯辺・浜田出張所オープン



2022年4月1日、高齢者の生活を総合的に支えていくための相談窓口として千葉市あんしんケアセンター磯辺・浜田出張所がオープンしました。住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、介護・福祉・健康・医療など様々な面から、高齢者やその家族を支えていきます。  
【住所】千葉市美浜区磯辺2-6-6 磯辺ウェルズ21 B号室 (浜田出張所)千葉市美浜区浜田2-38 幕張ビル403

### ● 農仲舎八街オープン



2022年4月1日、後継者不足に悩む農家と働きづらさを抱えた方たちをつないだ、新しい形の就労支援B型事業所として、福祉農園「農仲舎八街(のうちゅうしゃやちまた)」がオープンしました。農仲舎八街の外には交流スペースを設け、地域の皆さんが集まっていたりするような場所になればいいと思っていますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。ご利用者の募集もしております!  
【住所】八街市八街ろ143-89

## 2021年度事業実績・2022年度事業計画

### 【理念1】 私たちは、一人ひとりの個性と尊厳を尊重し、基本を大切にしたい質の高い支援を目指します。(ケア)

- ・全分野共通の基本姿勢に位置付けている「ICF(国際生活機能分類)」の概念をしっかりと理解し、これに基づく支援を行うことで、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)の向上を目指します。今年度は、演習を中心とした研修を組み立てます。基本的な内容の理解については、拠点や事業所ごとに過去の資料が活用できることを周知します。
- ・生活クラブ版高齢者10の基本ケアを浸透させ介護技術マイスター認証を広めることを目指しましたが、昨年はコロナ禍においてできませんでした。介護技術リーダー候補者研修のあり方を見直し、現場における介護リーダーとしてOJT(オンザジョブトレーニング)ができる職員を育成します。
- ・アウトカム評価を推進し、昨年度は、住まい6、居宅12、訪問10、定巡6、ショート2、障がい4、小規模多機能2、相談4の事業所で実施しました。(「アウトカム」は結果を意味し、サービスによりもたらされた利用者の状態変化(在宅復帰)といった対象者への評価視点です。)

- ・支え合う関係性の共生型社会づくりを目指し、地域共生社会推進室を設置し、関連する活動を活性化していきます。
- ・児童・保育分野では、「保育園・児童養護施設・乳児院における3の基本保育」を定めました。
- ・虐待防止規定と指針、身体拘束ゼロに基づいた職場運営を行ない利用者の権利擁護に取り組んでいます。昨年度、行政へ報告した虐待が疑われる案件は3件でした。これとは別に、法人が虐待事故として報告した案件が1件ありました。
- ・今年度は、重点実施項目研修に位置付けられている「虐待防止研修」を、高齢分野と障がい分野に分けて開催します。また、虐待防止委員会の確実な実施のため、開催状況を本部で把握します。
- ・訪問看護では、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中でも、地域訪問看護を継続するためのBCPを各地域の特性に合わせて作成し、分野の中で共有しブラッシュアップを行いました。引き続き感染対策委員会の要として、活動します。
- ・分野を問わない包括的な相談支援の実施と社会資源開発を行い、総合相談事業受託および生活困窮者自立支援事業受託を拡大します。

### 【理念2】 私たちは、地域のみなさんと共に、誰もがありのままにその人らしく地域で暮らすことができるようなコミュニティづくりに貢献します。(地域)

- ・「生活クラブ安心システム」は、従来から活動している6拠点ではコロナを鑑みフードパントリーやオンラインのサロンなど工夫しながら活動を進めました。拠点以外で地域活動を行う事業所においては「街の縁側」登録を進めています。今後も継続強化し、生活クラブ千葉グループ4団体統一方針の3項目について推進します。
- ・介護者支援を地域で広げるためのケアラー支援の具体的な取り組み(ケアラーズカフェ、オレンジカフェなど)については地域性を鑑み拠点ごとに検討します。また、ヤングケアラー支援についても検討します。
- ・精神障がい者にも対応した地域包括ケア推進基金(通称:びあ基金)を活用し、精神科アウトリーチ活動の他、地域のリカバー(病気があっても、その人らしい人生を歩むことができる)モデルの実践が円滑に進められるよう、リカバリーカレッジ開設準備会で検討します。

### 【理念3】 私たちは、情報公開、説明責任を大切にするとともに、希望と働きがいをもてる職場を、自らが参加してつくりまします。(職員・働く場所)

- ・保育園、学童保育、児童養護、乳児院等、こどものケア事業は各エリアに組み込まれていましたが、高齢、障がい者支援事業と経営のあり様や運営方針についてエリア経営会議の場で一緒に議論することが難しかったため、機構変更を行い、こども事業部を設置しました。こども事業部を設置して当該事業を集約し、しごと・くらし事業部と同様にひとつのエリアとして運営していきます。
- ・各事業所と本部業務のあり方について検討するプロジェクト報告をもとに、二重に行っている作業の洗い出しや、業務分担を見直し、法人全体の経営改善につながる計画を策定します。
- ・採用難傾向にある介護職、保育職の採用強化と、より意欲の高い方を採用できる仕組みづくりを進めます。採用後の新卒者をフォローするために新卒先輩職員によるメンター制度を導入します。
- ・昨年度に開設した法人YouTubeチャンネルを定期配信し、あわせて法人内外を問わず案内して、チャンネル登録者数、閲覧数を増やしていきます。(公式YoutubeチャンネルQRコードはこちら→)
- ・ホームページとパンフレットをリニューアルします。
- ・研修内容の充実を図り、重点実施項目研修は、「ICF」「虐待防止・権利擁護」「ハラスメント」を実施します。
- ・ユニバーサル就労システムの高度化を推進し、当事者支援、事業所支援を充実します。
- ・障がい者雇用者相談窓口を設置します。あわせて、公益通報者保護法に基づく(虐待、内部不正等の報告)窓口、ハラスメント相談窓口等の必要な窓口の役割を整理します。



### 【SDGsについて】 2021年度のSDGs委員会の話し合いをもとに、6つの企画をそれぞれのワーキンググループが実行していきます。

- ①居場所づくりの一つとしてプレーパークを知ろう
- ②安心支援システムの分析と情報発信～事例・ノウハウ共有機能強化～
- ③ユニバーサル就労の進展～理解を深めることで雇うメリットの共有～
- ④誰もが活力を持って働く職場作りの環境や方法を探ろう
- ⑤限りあるエネルギー、大切な自然環境を未来につなげよう
- ⑥気候変動アクション

